# 第７回昭島市総合基本計画審議会
# 議事要旨

＜ 日 時 ＞　令和２年２月１４日（金）19:00～

＜ 場 所 ＞　昭島市役所　３階　庁議室

＜出席者＞（敬称略）

【委員】

田中　啓之（会長／相模女子大学 人間社会学部長 社会マネジメント学科 教授）、前田　耕司（副会長／早稲田大学大学院 教育学研究科 教授）、白川　宗昭（昭島市教育委員会 委員）、中島　岩雄（昭島市自治会連合会 会長）、浅見　勇（昭島観光まちづくり協会 事務局長）、信行　賢順（連合東京多摩中央地区協議会 事務局長）、日惠野　貴之（昭島六団体連絡協議会 専務理事）、細谷　訓之（昭島市社会福祉協議会 事務局長）、水野　宏一（昭島市商工会 事務局長）、大田　眞也（昭島市医師会 常任理事）、山下　俊之（昭島市行財政改革推進会議 委員）、赤田　輝子（公募市民）、和田　容子（公募市民）

【事務局】

永澤貞雄（企画部長）　萩原秀敏（政策担当部長）　青柳裕二（企画政策課長）　滝瀬泉之（総合基本計画担当課長）　森田晃（企画調整担当係長）　田中一輝（企画政策係主事）

【策定支援事業者】

松岡宏（（株）地域総合計画研究所）　三浦洋平（（株）地域総合計画研究所）

【傍聴者】

なし

＜配付資料＞

・日程
・資料１：基本構想素案
・資料２：基本計画の骨子
・資料３：次期総合基本計画策定スケジュール
・資料４：基本計画（たたき台）
・資料５：第五次昭島市総合基本計画　中間評価以降の内部検証のまとめ
・第五次昭島市総合基本計画　中間評価以降の内部検証調査票(エクセルＡ３）
・資料６：部会担当割（案）
・市民意識調査　報告書　令和２年２月(冊子)
・実施計画（冊子）

＜議事要旨＞

## １　開会

## ２　会長挨拶

会長：

ただいまから、第７回総合基本計画審議会を開会いたします。本日の審議に入る前に、鈴木委員、荒井委員、松本委員、杉田委員、河村委員から欠席の連絡を受けておりますので、報告をさせていただきます。

次に、前回、11 月に行われました第６回審議会の議事要旨については、事務局から事前に配付されておりましたが、何かお気づきの点等ございますか。

ご指摘の点などないようですので、第６回審議会の議事要旨は審議会で確認されたものとします。

## ３　議題

### （１）今後の進め方について

【　事務局より今後の進め方について説明　】

【　質疑　】

**〇今後の進め方について**

中島委員：

今議会の総務委員会で報告されるとのことだが、その後 12 月の本会議まで、報告等議会との関わりはないのか。

事務局：

現在、本審議会で策定に向けた検討を行っているところであり、現時点で報告する予定はない。最終的にまとまったものを提示することを考えている。なお、パブリックコメントの実施にあたっては事前に報告する予定である。また、12 月の本会議では総合基本計画として提示するが、条例上、基本構想部分について審議いただくことになる。

中島委員：

皆の総意により計画が作られていくのがよいと考えている。最後に「内容が固まったから提示」ではない方がよいのではないか。

事務局：

議会からもご意見をいただき、反映させるところは反映させていくことになっている。

細谷委員：

実施計画と基本計画との連動について、互いの年次の取扱いはどのようになるのか。

事務局：

現在、実施計画は３年ごとのローリングとなっている。次期計画からは、基本計画・実施計画ともに計画期間を５年間とする。法改正や事業の見直し等があった際には、計画期間の途中であっても見直しは行う。どのように見直すかについては現在検討中であり、明らかになった時点で説明させていただく。

会長：

議会に意見を求め、諮問・答申後であっても内容が変更となることもありうるのか。

事務局：

議会へは市としての考えを提示するものである。特別委員会にて集中審議いただければと考えている。前回策定時と同様の進め方としている。

**（２）基本計画（第１章、第２章）について**

【　事務局より基本計画（第１章、第２章）について説明　】

【　質疑　】

**〇基本計画（第１章、第２章）について**

中島委員：

6 ページ「総務省…」のところは、しっかり記載いただけてよかった。自治会加入率が最新の値になっていないことが気になる。

事務局：

最新の数字は把握している。今後更新する予定である。

水野委員：

3 ページ「時代潮流」とあるが、この表現にあまり馴染みがなく抵抗を覚える。また、小見出しを適宜設けることで、より読みやすい文章にできるのではないか。

事務局：

いただいた意見踏まえ見やすさを工夫する。今後、よりよい形で提示していきたい。

白川委員：

「まちのあゆみ」について。多摩川からの恩恵といった内容の記載があるが、恩恵がある一方で氾濫も繰り返し起こってきたことから、治水・防災の認識もどこかに盛り込んでいただきたい。負の部分・恩恵の部分の双方があることを示していただけるとよい。

事務局：

検討させていただく。

和田委員：

市の歴史については、文章で記載されてもなかなか読んでもらえないのではないか。自分には小学４年生の息子がいるが、歴史マンガや映像によって、歴史を好きになったということがある。WEB の活用などもあわせ、ビジュアルとしてインパクトがあるものにできれば、幅広い年代に歴史を認識してもらえるのではないか。

事務局：

３月オープンのアキシマエンシスではそのようなことも可能になっている。より歴史に親しんでいただけるようなことを考えていきたい。

浅見委員：

先ほどの「時代潮流」へのご意見と同様に、「まちのあゆみ」についても時代の小見出しが入っていると読みやすいのではないか。

事務局：

体裁を含め、どのように紹介するかを工夫したい。

水野委員：

「まちのあゆみ」について。年表の平成 25 年 5 月の民間との包括協定などは、どういった考えの上で掲載しているのか。また、市議会議員選挙など定例的なものをここに掲載する必要はあるのか。

事務局：

年表については、今回例示的に広く事案を掲載した。また、一企業名を掲載することに問題があるとは考えていないが、庁内で再度議論は行う。本日掲載したものすべてを示していくわけでなく、主だったものをピックアップし、掲載する予定である。

和田委員：

ピックアップはどのような基準で行うのか。

事務局：

明確な基準は現時点で決定していない。昭島市の目玉となった事業、市民の方に精通している事業などを中心に選定したいと考えている。必ず掲載すべきというものがあればご意見をいただきたい。

浅見委員：

多摩大学との連携協定などは掲載されているとよい。

事務局：

今後も継続していく取組については、年表に限らず施策の中で触れるのが良いか、検討したい。

会長：

5 ページ「社会意識に関する世論調査」とあるが、同様の調査を市でも行っているのであれば、併記されているとよいと感じた。コミュニティの部分のように、他にも詳しく書く部分があってよいのではないか。どのような背景でこの計画が作られたのかを知るためにも、時代潮流がきちんと記載されているのはよいことと思う。

**（３）その他**

【　事務局より「第五次基本計画進捗状況（資料５）」「部会担当割（資料６）」「市民意識調査」「実施計画」について説明　】

【　質疑　】

**〇第五次基本計画進捗状況について**

中島委員：

A3 判資料について。評価・進捗のところに様々な記号が記載されているが、これらはどういった意味か。また、備考欄に記載のある課が担当となっているのか。

事務局：

前半期評価に対する進捗状況を記号で示している。「◎」マークは進捗した、「※」マークは完了した事業を表している。その他のマーク等は凡例を示させていただく。備考欄に記載されている課が内部検証を行ったということである。

## ４　その他

### （１）次回の開催予定

事務局：

次回は 3 月 13 日（金）午後 7 時からの開催とする。次々回 4 月の審議会については、4 月 10 日（金）の開催が公務のため難しく、翌週（4 月 13 日～）の週で調整させていただきたい。

会長：

皆様のご都合を踏まえ、4 月 14,15,16 日は避けることとする。

事務局：

本日欠席の委員にも確認し、4 月 17 日（金）を第一候補に調整を進めさせていただく。

## ５　閉会